

「施策」総括票

施策展開	2-(6)-ア	地域特性に応じた生活基盤の整理	
施策	⑤地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備		140頁
対応する 主な課題	<p>○県民生活を支える道路の整備にあたっては、地域の特性を踏まえつつ、地域コミュニティや地域活性化への配慮が必要である。</p> <p>○多様な交通手段を有する本土とは異なり、自動車交通に大きく依存する本県においては、市町村の道路整備のニーズが高いことから、幹線道路網の形成、市町村合併による行政サービスの向上や効率化、交通安全等に配慮した整備が必要である。</p> <p>○空港は、県民の重要な移動手段となることから、地域特性に応じた空港整備に取り組む必要がある。</p>		
関係部等	土木建築部		

I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
1	生活に密着した道路整備(県管理道路)	20,831,109	順調	<p>○国道331号、国道507号(八重瀬道路)、平良下地島空港線(伊良部大橋)等の整備を行った。(1)</p> <p>○金武湾港において、海中道路を南北に結ぶ航路の整備として浚渫工事を実施した。(3)</p> <p>○伊平屋空港建設が周囲の環境に与える影響を検討したが、就航機材の決定に時間を要しており、航空会社を含めた関係機関との協議が遅れている。(4)</p> <p>○粟国空港滑走路整備に必要な舗装強度などの調査を行った。(5)</p>
2	生活に密着した道路整備事業(市町村道)	9,888,377	順調	
3	金武湾港の整備	202,939	順調	
4	伊平屋空港の整備	32,898	やや遅れ	
5	粟国空港の整備	6,457	順調	

様式2(施策)

Ⅱ 成果指標の達成状況 (Do)

(1) 成果指標

1	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	県管理道路の改良済延長		1,100km (21年度)	1,116km (22年度)	1,150km (26年度)	16km	—
状況説明	目標達成に向け、県管理道路の改良済延長は着々と伸びており、地域特性に応じた生活基盤の確保につながっている。						
2	成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
	市町村道の改良済延長		4,044km (21年度)	4,061km (23年度)	増加	17km	—
状況説明	整備延長の伸びも見られ確実に整備が進んでいる。今後も着実に増加することが期待できる。						

(2) 参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

- ・交通機能と沿道アクセス機能のいずれを優先するかや、景観、防災への配慮など、地域が道路に求めるニーズが多様化、複雑化してきている。そのため、画一的な整備ではなく、地域のニーズに柔軟に対応する必要がある。
- ・金武湾港においては、計画航路付近にモズク養殖場があり、12月から4月の間はもずくの苗床時期及び収穫時期であるため工事ができない。また海上工事は汚濁拡散防止などの環境対策に十分に配慮した整備を行う必要がある。
- ・粟国村は現在就航している機材(9人乗り)の大型化を要望しているため、国等の関係機関とも綿密に調整を図り、その結果を基本設計に反映させた上で、粟国空港整備の方向性を決定する必要がある。

IV 外部環境の分析 (Check)

- ・市町村道は、国道・県道とともに道路ネットワークを形成しており、県民の日常生活を支える上で最も基盤となる社会資本であるが、未だ未整備箇所も多く、また、老朽化の進展による修繕の必要な市町村道が多く存在することから、県は市町村に対し計画的・効率的な道路整備を指導する必要がある。
- ・為替の変動による国内旅行の人気等により本県への観光客の増大が期待されるが、道路整備は自動車の走行性、ひいては観光客の満足度に大きな影響を与えることから、一定の水準を維持していくことが重要となる。
- ・伊平屋空港については、就航機材で施設の整備規模が決まるため、航空会社と協議し、整備規模を検討する必要がある。

V 施策の推進戦略案 (Action)

- ・情報共有を密に行うなど市町村と連携して地域特性の把握に取り組み、地域のニーズに柔軟に対応した道路整備を推進する。
- ・県は市町村に対し、橋梁・舗装等道路施設の点検の実施による計画的・効率的な修繕、優先度を考慮した道路整備を図るよう指導し、地域活性化及び良好な生活環境の確保に資する道路整備を促進する。
- ・金武湾港の整備については、もずくの収穫時期等に配慮した工事時期(5月から11月まで)とするとともに、汚濁防止膜により汚濁の拡散を防止し、環境対策に十分配慮した整備を行う。
- ・伊平屋空港への就航条件について航空会社を含めた関係機関と協議を行うとともに、修学旅行の誘致を行うなど、伊平屋村、伊是名村による積極的な航空需要の喚起策の検討を促進する。
- ・栗国空港整備の方向性を決定するため、「栗国空港整備促進協議会」を開催し、地元の合意形成を図る。